

温室効果ガス排出量を削減し クリーンエネルギーの普及 脱原発をめざします



◆ 京都の冬日(最低気温0℃未満)は1940年代年間70～90日、70年代50日、90年代15日

◆ 京都の熱帯夜(最低気温25℃以上)は1940年代0～3日、60年代10日前後、90年代20日以上、94年は40日

◆ 霧日数(視程が1km以下)は1910年代多い年は年間180日、60年代50日以下、最近は殆ど無。

◆ 年平均湿度は1910年代70%、90年代は60%で10%乾燥。

◆ 気温の上昇(特に最低気温が下がらない)と乾燥化が顕著です。また、冬にツララは見られず、夏はクマゼミばかり、ナガサキアゲハが京都で見られるなどの変化があります。

◆ 全国的にも、集中豪雨の多発、日降水量100mm以上が頻発、巨大積乱雲による竜巻、最高気温を更新、早まるサクラと遅れる紅葉、東京の気温は100年前の鹿児島と同じ。1℃上昇で気候は150km南下します。

(地球温暖化防止大講演会2008/7/5気象台OB大西氏レポートより)

◆ 地球の平均気温は、産業革命から200年を経過し、0.76℃上昇しました。また、すでに大気中に排出された温室効果ガスにより、今後20年で更に0.4℃上昇すると予測され、対策をとらなければ、平均気温は今世紀末、最大6.4℃上昇すると言われています。地球温暖化を抑制し、産業革命前に比べ気温上昇を2℃以内に抑えこむことは、地球と人類の喫緊の課題です。

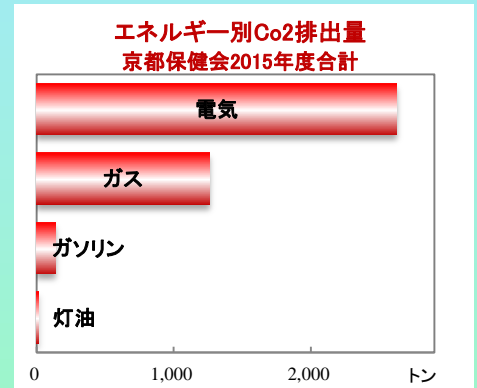
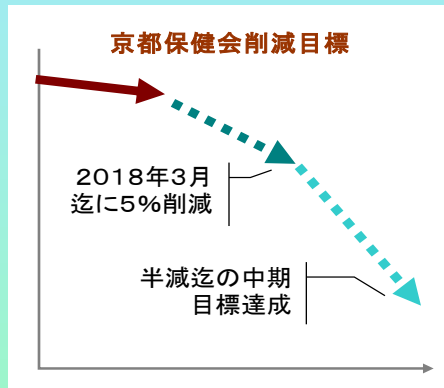
◆ 国連の気候変動に関する政府間パネル(IPCC)の第四次評価報告書は、気温上昇を2℃以内に抑えるため3点を強調しました。

①2050年までに、世界の温室効果ガスの総排出量を1990年比で半分以下に削減すること、とくに先進国は80%以上削減すること(長期削減目標)。

②2015年までのできるだけ早い時期に世界の総排出量を減少に転じさせること、とくに先進国は2020年までに25～40%削減すること(中期削減目標)。

③以上の目標の達成によって、今世紀末までに人類が排出する二酸化炭素を1兆8千億トン以下に抑え、大気中の二酸化炭素濃度を安定させること。

◆ 1990年の温室効果ガス排出量は、地球の吸収できる能力の倍でした。長期削減目標(1990年比半減以上)は、人類が地球に「住み続ける」ための必要条件なのです。



◆ 政府は「2030年代に原発稼働ゼロが可能となるよう、あらゆる政策資源を投入する」とし、原発ゼロに向けた方向性を示したことは歓迎されるが、2030年代の努力目標に止まっています。また、「再処理」をすすめて新たな核燃料をつくり、中断している原発の建設を再開するという、まったく矛盾した姿勢です。

◆ 世論調査の結果は、国民の多くがより早い時期に確実にゼロにすることを求めており、より早く確実に原発ゼロを実現すべきです。さらに、エネルギー政策として非常に重要な温室効果ガス削減については、1990年比で2020年までに5～9%の削減とし、従来日本の削減目標「2020年25%削減」を大きく下回ったばかりか、京都議定書の2012年までの6%削減という目標からも後退した内容です。

◆ 脱原発とともに、気候変動の深刻な悪影響を防止していくことも極めて重要な課題です。そのためには、原発に依存しないことを明確にし、温室効果ガス排出削減をより進めていくことが必要です。発電量は2030年までにわずか10%削減、最終エネルギー消費では19%削減という小幅な削減を固定するところからもそれは明らかです。

◆ 省エネの推進、そのための産業・発電部門を中心にした削減の追求、政策導入、天然ガスへの燃料転換、そして再生可能なクリーンエネルギーの加速度的な大幅導入によって、脱原発と温暖化対策の両立が可能です。福島第一原発事故を経験した日本が、未来に「負の遺産」を残さず「国民の声」と取組んで原発がなくなった」といわれるよう、一人ひとりの力を合わせ以下を取り組みます。

- ・温室効果ガス排出削減に取り組みます。
- ・環境負荷軽減のため、ゴミ減量・省資源を取り組みます。
- ・職員意識を高めるため一斉終業、消灯日を検討・実施します。
- ・全事業所で毎月の温室効果ガス排出量を集計し環境への意識向上を目指します。



SaveEarthのため省エネ、クリーンエネルギー利用 Co2排出量削減、「原発ゼロ」をめざします

- ライトダウン、電飾OFFに取り組みます
 - 冷房28℃、暖房20℃を徹底します
 - 定時一斉終業・消灯日を検討・実施します
 - エコオフィス、エコ機器切替を促進します
 - アイドリングストップ、エコドライブを推進します
 - 省資源化、一般ゴミ減量で環境負荷を軽減します
 - 全事業所で毎月の温室効果ガス排出量を確認します
- みなさまのご理解・ご協力をお願いいたします